

社 会

(公民的分野)

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書◆	公民 002-92	A B 246	令和6年
17	教育出版	教 出◆	公民 017-92	A B 269	
46	帝国書院	帝 国◆	公民 046-92	A B 262	
116	日本文教出版	日 文◆	公民 116-92	A B 274	
225	自由社	自由社◆	公民 225-92	A B 変型 270	
227	育鵬社	育鵬社◆	公民 227-92	A B 262	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

中学部 社会(公民的分野)(聴覚障害特別支援学校)

発行者		東書	教出	帝国	日文	自由社	育鵬社
内容	聴覚障害のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①実際に経験したり調べたりするなど、聴覚障害を補う学習活動が工夫できるもの。 ②聴覚障害の理解に関わる記述があるもの。	①「第4章の学習をまとめよう」では、章内の各節で学んだ内容を図にして整理しながら、振り返る活動を示している。(P177) ②該当なし	①「個人を尊重する日本国憲法」では、人権上の課題の解決方法を、フィッシュボーン図を作成して考え、友達と意見交換する活動を示している。(P81) ②「暮らしやすいまちづくりへ」では、聴導犬などの補助犬への理解と周知を促すステッカーについて示している。(P178)	①「政党の役割」では、政党の主張の違いを、座標軸を用いて整理する活動を示している。(P81) ②「平等権の実現に向けて」では、聴覚障害のある人に対する合理的配慮について示している。(P51)	①「章のまとめをしよう」では、政治が日本国憲法に基づいて行われている理由をクラゲチャートに整理して考え、友達と意見交換する活動を示している。(P81) ②「まちのバリアフリーを探そう」では、「耳マーク」や「ヒアリングループマーク」について示している。(P56)	①「日本国憲法の原則」では、各国の条項を調べて表にし、日本国憲法と比較する活動を示している。(P61) ②該当なし	①「政治のこれから」では、自分の住む地域の課題や特色をKJ法を用いて整理し、見出しを付ける活動を示している。(P114) ②該当なし
	聴覚障害への配慮を要する内容等について ①音声情報を必要とする見学等の活動があり、学習の際に特別な支援が必要であるもの。	2箇所 ①「政治参加をしてみよう」では、インタビューを通して課題を把握したり研究したりするなどの活動を示してあり、取り扱う際に配慮が必要である。(P120-121)	6箇所 ①「持続可能な未来への対話」では、インタビューの活用や実施について示してあり、取り扱う際に配慮が必要である。(P236)	1箇所 ①「課題探究と私たち」では、口頭で説明する活動を示してあり、取り扱う際に配慮が必要である。(P223)	1箇所 ①「私たちの課題」では、発表をする際の話す速度について示してあり、取り扱う際に配慮が必要である。(P230)	1箇所 ①「ディベートをやってみよう」では、政治に参加するために身に付ける力の一つに、他者の主張を正確に聞き取ることを示してあり、取り扱う際に配慮が必要である。(P218)	1箇所 ①「よりよい社会をめざして」では、発表の際の声の大きさ等について示してあり、取り扱う際に配慮が必要である。(P212)
構成上の工夫	障害の状態に応じた事項、その他 ①聴覚の障害を補えるように、写真、図表等で視覚的に説明しているもの。 ②聴覚の障害による読解への配慮として、学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されたもの。	①「消費生活を支える流通」では、野菜が消費者に届くまでの流通の働きについて、図にして示している。(P140) ②「持続可能な社会に向けて」では、このページで学習することを、枠囲みで示している。(P12)	①「国民の代表を選ぶ選挙」では、選挙のしくみについて、図や表にして示している。(P89) ②「つながる世界と私たち」では、この学習で何を追求していくのかを、枠囲みで示している。(P16)	①「私たちの生活と裁判」では、民事裁判と刑事裁判の例について、図にして示している。(P95) ②「現代社会の特色」では、見開きごとに、学習の内容を見通すための課題を、枠囲みで示している。(P4)	①「選挙の意義としくみ」では、小選挙区制と比例代表制について、図や表にして示している。(P87) ②「少子高齢化の社会で生きる私たち」では、見開きごとに、何を学んでいくのかを、枠囲みで示している。(P8)	①「日本国憲法の改正問題」では、憲法改正の手続きについて、図にして示している。(P63) ②「グローバル化が進む世界」では、単元の最後に、重要な確認事項をまとめて示している。(P3)	①「人権の歴史」では、人権思想に関する歴史について、年表にして示している。(P46-47) ②「世界とかかわる私」では、見開きごとに、学習内容を見通すための課題を、枠囲みで示している。(P12)
参考	我が国の位置と領土をめぐる問題の扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり
	国旗・国歌の扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり
	神話や伝承を知り、日本文化や伝統に関心をもたせる資料	なし	なし	なし	なし	なし	あり
	北朝鮮による拉致問題の扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり
	防災や、自然災害時における関係機関の役割等の扱い	なし	あり	あり	あり	あり	あり
	一次エネルギーや再生可能エネルギーの扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり

中学部 社会(公民的分野)(肢体不自由・病弱特別支援学校)

発行者		東書	教出	帝国	日文	自由社	育鵬社
内容	肢体不自由・病弱の生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①学校内や学校周辺で、身近に体験できる学習活動が示されているもの。 ②肢体不自由や病弱の理解に関わる記述があるもの。	18箇所 ①「平等権②」では、インクルーシブな社会を実現するために、校内や学校周辺で改善すべきところを探して地図などに記入する活動を示している。(P53) ②「社会権」では、教育を受ける権利についての説明の一環として、院内学級の授業の様子を示している。(P57)	20箇所 ①「持続可能な未来への対話」では、自分の提案を発表する活動とともに、友達と役割を決め、インタビューをし合う活動を示している。(P236) ②「暮らしやすいまちづくりへ」では、交通機関におけるバリアフリー設備について示している。(P178)	16箇所 ①「マンションの騒音問題を解決しよう」では、ロールプレイングを通して解決策を考える活動を示している。(P23) ②「社会権」では、教育を受ける権利についての説明の一環として、院内学級の授業の様子を示している。(P54)	15箇所 ①「公園づくりについて話し合おう」では、公園を利用するきまりについて話し合う活動を示している。(P34-35) ②「まちのバリアフリーを探そう」では、まちの施設のバリアフリー化について、写真とともに示している。(P56-57)	10箇所 ①「魅力ある『まちづくり』を考えよう」では、魅力あるまちづくりの方策を考える活動を示している。(P40-41) ②「社会資本の充実」では、公共交通機関などのバリアフリー化の例として段差をなくすことを示している。(P157)	9箇所 ①「政治のこれから」では、自分たちが住む地域の特色と課題を調べる活動を示している。(P114) ②「ともに生きるために」では、バリアフリーについての説明の一環として、車いすのまま乗れるユニバーサルデザインタクシーを示している。(P61)
	肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について ①補助用具や補助的手段を活用しても、見学や体験的な活動に困難が想定されるもの。	1箇所 ①「政治参加をしてみよう」では、バス会社を訪問する活動が示しており、取り扱う際に配慮が必要である。(P120)	0箇所 ①該当なし	1箇所 ①「裁判員として裁判の判決を考えよう」では、裁判を傍聴する活動が示しており、取り扱う際に配慮が必要である。(P99)	0箇所 ①該当なし	1箇所 ①「裁判の仕組みと人権の保障」では、裁判を傍聴する活動が示しており、取り扱う際に配慮が必要である。(P109)	0箇所 ①該当なし
構成上の工夫	障害の状態に応じた事項、その他 ①学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されていたり、各単元等のまとまりが記されていたりするもの。 ②体験の不足を補えるように、写真、図表等で視覚的に説明されているもの。	①「持続可能な社会に向けて」では、このページで学習することを見通すための課題を、枠囲みで示している。(P12) ②「T市のまちの様子から現代社会をながめてみよう」では、街の様子を表した図を見開きページで示した上で、現代社会の特色を考えるようにしている。(P6-7)	①「つながる世界と私たち」では、この学習で何を追求していくのかを、枠囲みで示している。(P16) ②「消費者を守るもの、支えるもの」では、暮らしの中の様々な契約の場面を写真で示した上で、消費者の権利と責任について考えるようにしている。(P134)	①「現代社会の特色」では、見開きごとに、学習の内容を見通すための課題を、枠囲みで示している。(P4) ②「暮らしのなかから憲法との関わりを探してみよう」では、街の様子を表した図を見開きページで示した上で、困っている人を見出し、憲法との関わりについて考えるようにしている。(P30-31)	①「少子高齢化の社会で生きる私たち」では、見開きごとに、何を学んでいくのかを、枠囲みで示している。(P8) ②「社会における私たちのきまりの意義」では、身近な生活の場面を表したイラストを示した上で、きまりについて考えるようにしている。(P27)	①「グローバル化が進む世界」では、単元の最後に、重要な確認事項をまとめて示している。(P3) ②「私たちを支える経済活動」では、警察の業務などの公共サービスを写真で示した上で、公共財と私的財の区別について考えるようにしている。(P123)	①「世界とかわる私」では、見開きごとに、学習内容を見通すための課題を、枠囲みで示している。(P12) ②「対立から合意へ」では、様々な合意形成の方法をイラストで示した上で、それぞれの長所と短所について考えるようにしている。(P31)
参考	我が国の位置と領土をめぐる問題の扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり
	国旗・国歌の扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり
	神話や伝承を知り、日本文化や伝統に関心をもたせる資料	なし	なし	なし	なし	なし	あり
	北朝鮮による拉致問題の扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり
	防災や、自然災害時における関係機関の役割等の扱い	なし	あり	あり	あり	あり	あり
	一次エネルギーや再生可能エネルギーの扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり